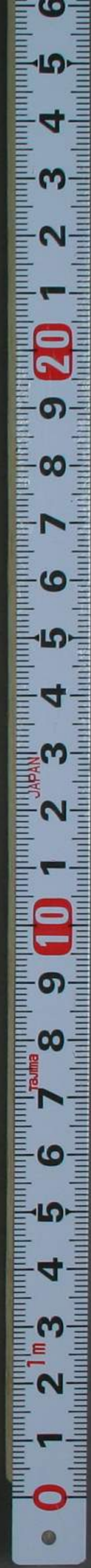




東洋遺稿

曾
651





故小野梓先生肖像

故小野梓先生遺墨

病毛は帰し後熟思ふよ畢竟斯く藩聽の東傳を受くるに必竟帯
 刀の身不て士かの列不存れいこ然るなり（帯刀を以て奉入たす）士林と稱し平人と為し
 身と自由ならずとて今日の上策なりと或る日其由と萱芸家兄等不話し
 平人の頭と出すことと為たりき然るに伊垣公之を聞き屈けるまき考め據存
 く他家へ養子不往躰不て平人と為りたりきこの平人不考る事ヲ執きて人
 と大抵その短氣なるを戒め今時ハ平人でせよ士林不為りたり思ひ脚ざし
 の一本も差し養思ふ世の中なる不態 帯刀と抜き捨て平人と考るとハ
 滅志得道しなむ由とさきやきたれい余にせし見る所ありしなり我が
 心不まき世に笑わしと堅く乞ひ遊ぶ平人と云ふべき

故小野梓先生ノ遺稿中自家ノ經歷ヲ手記セル一冊子アリ
 右ニ掲ゲシハ其一節ニシテ手跡ノ儘ヲ寫眞石版ニ附セシ
 モノナリ

論郵便

壬午正月 子輝手書

滿堂諸君、天下の事は、政府設置以前、
 早の既人生の間、存政府タルモ、
 適合セントラカルモ、アルヲ知ルナシ、
 吾人、自由、如羊、大抵皆然ラナルハ、
 十二時、夫、人々交通、自由、如キハ、人生有
 テヨリ、以美明治十五年、今日、更ナリ、明治億
 萬年、後、至ルナシ、モ人類、依テ、其幸福ヲ謀
 リ、賴ンテ、以、其便利ヲ求ムルモ、ニシテ、政府
 ヲ設置スル、目的、半ハ、自由ヲ保護セ、
 寧キ

ラ、メ、ン、ト、欲、ス、ル、ニ、在、ル、カ、如、シ、蓋、シ、人、間、ニ、
テ、孤、獨、^{自カ}、立、テ、敢、テ、他、人、^幫、助、ラ、テ、要、セ、サ、ル、モ、
ノ、ナ、ラ、シ、メ、ハ、交、通、ノ、自、由、ハ、吾、人、ノ、類、ノ、執、望、ス、
ル、所、ニ、ア、ラ、サ、ル、^{ナリ}、然、ル、ニ、能、ク、人、ト、^{能ク}、
ル、ハ、其、社、會、ヲ、組、織、シ、其、有、無、ヲ、通、シ、其、智、識、ヲ、交、
ハ、相、倚、テ、其、生、ヲ、養、ヒ、相、助、ケ、テ、其、命、ヲ、全、ス、ス、ル、
ニ、在、レ、ハ、交、通、ノ、自、由、ハ、吾、人、ノ、類、^業、之、ヲ、執、望、
セ、サ、ル、ヲ、得、^{カハモノナリ}、否、ト、吾、人、ニ、^テ、コ、ノ、自、由、ヲ、執、望、
セ、ス、他、人、^テ、コ、レ、ヲ、妨、碍、ス、ル、ヲ、顧、ミ、サ、ル、ア、ラ、^ズ、
我、カ、人、間、社、會、ノ、幸、福、ハ、改、良、前、進、^ス、時、ナ、リ、我、カ

邦、家、人、民、ノ、實、利、ハ、増、益、繁、殖、ス、ル、ノ、期、ナ、リ、
一、ニ、果、シ、テ、然、ラ、バ、交、通、ノ、自、由、ヲ、執、望、シ、他、人、
ノ、之、ヲ、^妨、碍、ス、ル、ヲ、^障、礙、ス、ル、ハ、吾、人、ノ、類、カ、人、間、
社、員、會、タ、ル、ノ、職、分、ニ、シ、テ、其、國、民、タ、ル、ノ、義、務、ト、
謂、フ、モ、敢、テ、過、當、ノ、言、葉、ニ、ア、ラ、サ、ル、^{ナリ}、米、國、ノ、
大、家、李、筱、翁、云、テ、交、通、ノ、自、由、ヲ、桶、ヘ、テ、云、フ、ル、ア、
リ、此、ノ、人、生、本、源、ノ、自、由、ハ、今、更、ニ、其、要、^必、須、ナ、ル、所、
以、テ、辨、ス、ル、ヲ、須、井、ス、今、ノ、時、ニ、當、テ、吾、人、自、由、民、
カ、熱、心、シ、テ、講、ス、一、キ、モ、ノ、ハ、唯、タ、如、何、ナ、ル、手、段、
ヲ、以、テ、善、良、ノ、政、府、ヲ、擇、ヒ、^{コノ}、^事、^ヲ、^ナ、^ス、^ル、^ニ、^シ、^テ、^ハ、^人、^生、^本、^源、^ノ、^自、^由

東洋著作

合ハシムル乎又如何ナル乎又如何ナル乎
 其本源ノ自由ヲ保護スル乎ニ問ニ在リト其
 言フ所或ハ詭激ニ似タリト雖モ細カニ其趣意
 ノ在ル所ヲ玩味スレハ余ハ誠ニ其証ヒサルヲ
 知ルナリ満堂ノ諸君々孰知セテルカ如ク交
 通ノ自由ニ種々別類アリ人間社會ニ在ラ其
 心情ヲ交スル事項ハ大抵皆十是ノ自由ノ部類
 ニ屬スルヤ如シ是ヲ以テ吾人ハ言論ノ自由
 ランゴトヲ望ミ是ヲ以テ吾人ハ集會ノ自由
 ヲ望ミ是ヲ以テ吾人ハ内外公衆

ニ對シテ我意思ヲ口演スル自由ランゴトヲ欲セ
 リ是ヲ以テ吾人ハ天下後世ニ向テ我カ思想ヲ
 筆著スルノ自由ヲ全フセシゴトヲ望メリ
 唯コノ三四ノ自由ヲ全フセシゴトヲ望フノ三
 ナランヤ夫々彼此ノ通信ノ如キモ又是レ吾人
 ノ類々交際ノ上ニ於テ須臾モ欠クハカラサル
 ノニシテ其重キ決シテ前ノ數者ニ下ラサル
 モノナレハ吾人ハ固ヨリ通信ノ自在ニシテ其
 不便ヲ感スルナキヲ冀ハリ然レニ顧ミテ世間
 今日ノ有様ヲ省ルニ言論集會ノ自由ヲ熱論ス

東洋雜俎

ルモノハ之レアリ演説著述、自由ヲ痛説スルモ
 ノコレアリ其言、痛快ニシテ而モ味アル既ニ
 邦人ノ耳目ニ觸レ深ク其腦漿ニ付着シ其又
 又ヲ減却シ去ルヲ得ナルカ如シ誠ニ覺テ其
 唯、怪シム通信、自由ヲ説クモ、ニ至テハ
 寡トシテ聞ク所ナク、過ルコトアルモ其言フ
 所、痛快ニシテ而モ味アルモ、アラサルナ
 顧テ、是レ邦人カ未タ通信ノ自由ヲ妨ケラ
 レス常ニ其利便ヲ蒙ルカ為メ未タ其切要ナル
 ヲ感ヒサルニ由ルモ、予余ハ以テ疑ヒナ
 寡トシテ聞ク所ナク、過ルコトアルモ其言フ
 所、痛快ニシテ而モ味アルモ、アラサルナ
 顧テ、是レ邦人カ未タ通信ノ自由ヲ妨ケラ
 レス常ニ其利便ヲ蒙ルカ為メ未タ其切要ナル
 ヲ感ヒサルニ由ルモ、予余ハ以テ疑ヒナ

能ハサルナリ
 滿堂諸君ハ今ノ時ニ當テ吾人ハ果シテ能ク通
 信ノ自由ヲ得能ク其利便ヲ蒙リタリト云一ル
 予顧テニ多少ハ其自由ヲ得其サハ其利便ヲ蒙
 ルモノナラシキ然レトモ顧ミテ看レハ其自由ノ
 未タ全カラズニシテハ、利便ノ未タ蒙ラサルモ
 又甚々サナカラサルヲ知ルナリ而シテ近日
 新聞ニ傳ハル所、郵便増税一問、如キハ寧
 口其利便ヲ妨グルモ之ヲ進ムルモ、ニアラサ
 ルヲ疑フナリ諸君ハ定メテ道路ノ言ヲ聞キシ

東洋雜俎

ナラシ 政府者ハ郵便印紙ノ税額ヲ増加シ從新ニ
錢ノモ、^増シテニ錢五厘ト為サントス。ト果
シテ是レ信然ナラハ半モシ信然ナリトセハ當局
者ハ如何^カ要用アリテ之ヲ増サント欲スル乎
余ハ甚々之ヲ聞カント欲スルナリ^甲ハコノ増
税ノ目的ヲ説テ云ヘルアリ是レ國庫ノ減入ヲ
増シコノ政治ヲ張ラシカ為メナリトセハ又其
目的ヲ説テ云ヘルアリ之ヲ以テ是レ郵便改良
ノ元資ヲ得大ニ郵便ノ事業ヲ張シカ為メナリ
ト顧フニ當局者ノ増税ヲ企ツルノ目的果シテ

東洋雜報

甲ノ説ニ在ル乎將タ乙ノ説ニ在ル乎抑モ亦タ
別ニ妙案アリテ其目的トセラルハモ、^アル乎
若シ別ニ妙案アリトセハ余ハ甚々之ヲ聞カシ
ト欲ス若シ然ラズニテ前目的ハ前ニ二説ニ在
リトセハ余ハ西ナラ之ヲ賛成スルヲ得ナシ
ナリ^大抑モ一國ノ政府ニシテ信書^配送ノ事ヲ專
掌シ誤リニ之ヲ一人ノ手ニ委テカハモ、ハ
果シテ是レ何ノ為メナリ乎信書往復ノ利ヲ籠
断シテ其収益ヲ細^網セシト欲スルニ在ル乎否ナ
決シテ然ラザルハ一^夫信書^配送ノ事ハ人生

東洋雜報

交通ノ媒介^ハ為スモ^ニシテ其人間^ニ生存^ノ
道ニ於ケル系ヨリ輕カラサル^ト而シテ之ヲ
政府ノ專掌ニ歸シ漫リニ之ヲ一私人ノ手ニ委
セサルモ^ハ豈ニ其益ヲ收メ其利ヲ經スル^ノ
意ヲシヤ^ハ益ヲ收メ利ヲ經スル^ノ意ニ
アラサル^トミナラス其之ヲ政府ノ手ニ專掌シ
敢テ一私人ノ手ニ關ル^ト得セシメサルモ^ハ
人ノ通信ヲ自由ナシメ且其安全ヲ得セシ
メ以テ社會ノ交通ヲ便ニシ以テ其進歩ヲ謀ラ
ント欲スルモ^ハ是ヲ以テ郵便^ノ一事ニ就

ラ之ヲ之ハ政府ハ吾人ノ間ニ立テ安全ニシ
テ而モ利ヲ貪ラサル飛脚屋ノ職務ヲ勉メ以テ
人ノ交通^際ノ便利ヲ謀^リ以テ人智流通ノ道ヲ
通スルモ^ハト謂フ^ハ是ヲ以テ郵便ノ收入ヲ
散シテ之ヲ郵便配達ノ費用ニ充テ愈々其便利
ヲ謀ル^ハ政府當然ノ責ニシテ其之ヲ專掌スル
限リハ到底之ヲ辭スルヲ得サルモ^ハナリ然ル
ヲ今郵便ノ收入ヲ移シテ之ヲ他ノ政費ニ用井
之ヲ以テ驛遞以外ノ官衙ヲ造營^ニ其以外ノ官
吏ヲ使用シ或ハ士族ノ授産ニ充テ或ハ會社ノ

東洋雜報

東洋雜報

トテフルルヲ成ニル能ハサル所以ニ誠ニ是非
ナキ事ナリカニ又タ郵便税ヲ増加シテ郵便改良
ノ元資ヲ得ント欲スルモノニ至テモ全ク成
スルヲ得ズ抑モ郵便ノ事タル我党ノ老友前島
君ノ尽力ヲ以テ今日ノ盛大ヲ致シ且チ
ヲ行フ日猶ホ浅ク其改良ヲ加フ一十モ一
ニテ足ラズ一四ノ配達ハ二回ニ増加シ郵便
局ノ設ケナキ地ハ之ヲ設ケ未タ開ケサル通
信線路ハ之ヲ開キ等其數無量ナリ當局ノ者
ヲ知テ之カ改良ヲ謀ラント欲スルハ能ク我黨

老支前驛過線官ノ遺志ヲ継ケルモノト語ッヘ
シ今我党ハ宜シク之ヲ賛成ス然レトモ増
税ヲ以テ之カ改良ヲ謀ラント企ツルニ至テハ
惜シ哉余カ見ル所ニ違ハリ余ハ其ヒ之ヲ賛成
スルヲ得サルナリ顧シ之ヲ増税セハ目下必ス
二十四万圓ノ収入ヲ増サン而テ此増益ヲ以テ
郵便ノ事業ヲ擴張セハ一面ニ向テ大ニ便益ヲ
與ルカ如シ然レトモ此一面ニ向テ與フヘキ利
便ハ取りモ直サス従前ノ通信者ヨシテ二十四
万ノ増賃ヲ拂ハシ一面ニ向テ不便ヲ與フヘ

東洋通信

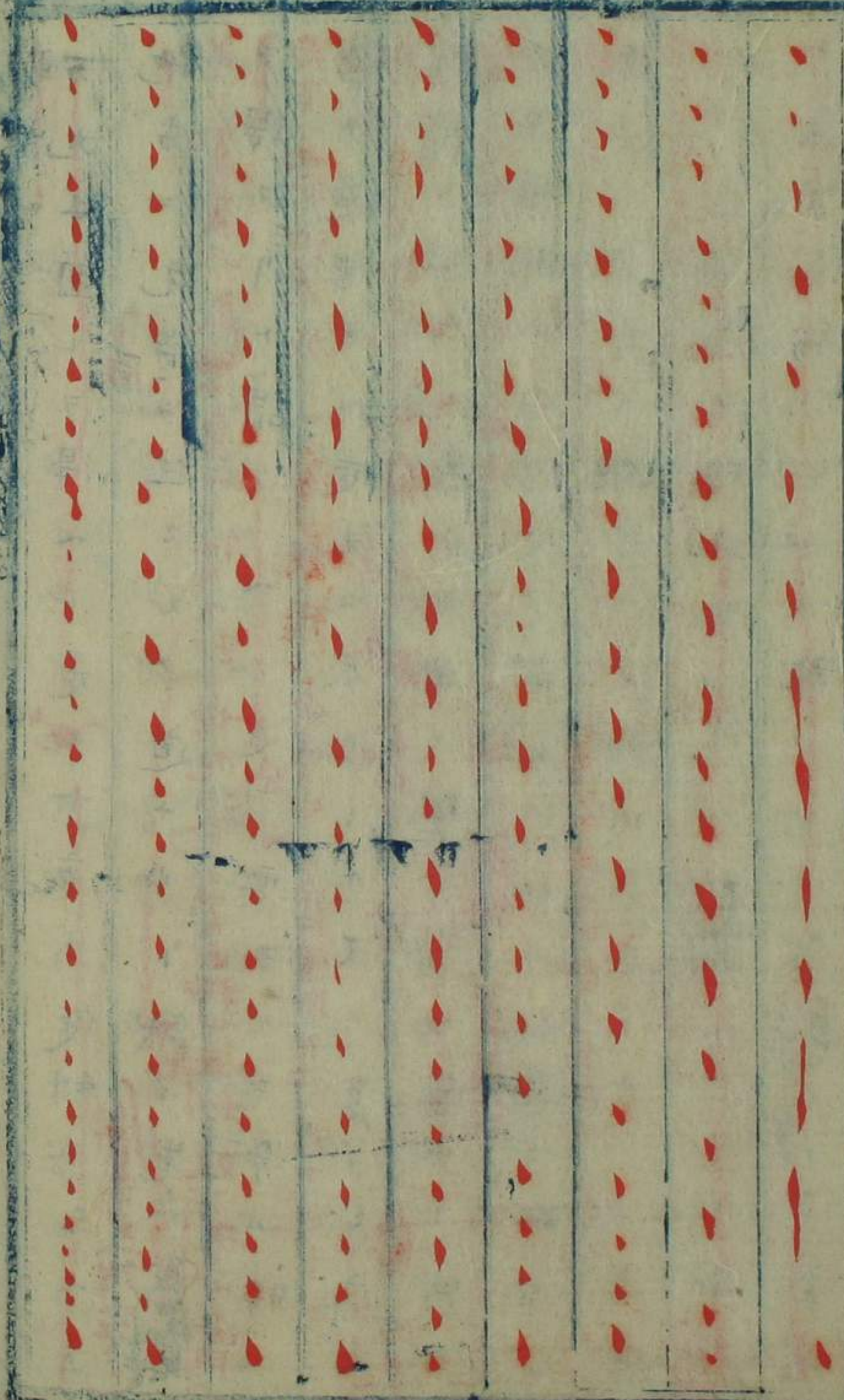
東洋通信

千圓ニアラスヤ ~~中~~ 其差引ハ實ニ十八万九
 十圓ヲ餘セリ 願フニ當局者ニシテ莫ニ郵便ノ
 改良ヲ謀ラシムル欲セハ蓋シ先ツ其差引ノ十九万近
 キニ餘剩ヲ使用シ以テ之レヲ改良ヲ謀ラシム
 況シヤ昨年度ノ豫算ニ比スレハ驛遞局已當リ
 經費ニ二十萬圓ヲ増加シタルノ實アルハ前ノ
 餘剩ヲ併セテ之ヲ用テ(豫算書ノ會計ハ百九十
 四萬圓トアルトモ其三菱會社助成金二十五萬
 圓沖繩縣航海費九千円魯國浦潮港航海費一萬
 圓合セテ二十六萬九千円ハ是レ沿海ノ航運ヲ助成ス

ルノ歳費ニシテ(依ニ然リ) 驛遞局正當ノ費用ト云フヘカ
 ラシテ而シテ其差引ハ實ニ十八万九千円ノ餘セ
 リ 願ニ當局者ニシテ莫ニ郵便ノ改良ヲ謀ラシ
 ム欲セハ蓋シ先ツ此十九万近キニ餘剩ヲ使用
 シ以テ之ヲ改良ヲ謀ラシムル況シヤ昨年度ノ豫
 算ニ比スレハ驛遞局正當ノ經費ニ二十万圓ヲ
 増加シタルノ實アルハ前ノ餘剩ヲ併セテ之ヲ
 用ニシテ目下四十万近キノ増費アルノ際(驛遞局
 當局者ハ宜シク之ヲ用テ其改良ヲ謀ルヘシ)而
 シテ此四十万ノ金額ヲ用テ(利用シ宜ニ郵便ノ改良ヲ謀ル

莫望一ルナリ

東洋書作



上未ハ是レ通信ノ利便ナルヲ冀フノ餘一竊ニ
 啖々セハ所ナリ今ヤ又演述ノ方向ヲ轉換シ通
 信ノ自由ナラムコトヲ言フニ及ンテ余ハ直ニ
 信書^東ノ秘密ヲ保障^東セシコトヲ訴^{ハサルヲ得ス(謹誌)}夫
 レ信書ノ秘密ハ文明諸國ノ既ニ許ス所ニシテ
 特ニ之ヲ岬達スルノ持権ヲ擧ケテ之ヲ政府ノ
 手ニ歸スル邦ニ在テハ最モ^{最モ}秘密ノ自由ヲ
 保障^東セカレハカラス^{嗚呼}蓋シ人々ノ自在ナリ信
 信書ヲ通シ他人ノ之ヲ投封スル^書受ケサハ
 ハ人主クヘ^ハカ^リカ^ルノ權利ニシテ政府ノ威

東洋書作

力ヲ以テスルモ其人ニシテ顯然ノ犯罪アリ者
 該ノ官吏ハ法律ニ據ル之ヲ不行スルニ由ラサ
 ルヨリハ決シテ其人ノ民力信書秘密ノ自由ヲ
 妨害スルヲ得ルモ其ノ否ト其ノ人ニシテ顯然
 ノ犯罪アルニ由ラス又者該ノ官吏ニシテ法律
 ニ據ル之ヲ不行スルニ由ラスモ其ノ根
 據書ヲ投封シ其秘密ノ自由ヲ妨害スルアラ
 ハ是レ惡政行テリ是レ惡政行テリ(大唱来)
 設レ一國ノ政府ニシテ郵便配達ノ事ヲ專掌シ
 之ヲ民人ノ手ニ歸セサルハ東ニテ何

決シテ
 爲メナル半信書ノ往復ヲ監視シテ在勤諸人ノ
 手届ヲ維持セカカ爲メ(大唱来)
 郵便配達ノ事ハ人生交通ヲスハモノナリ
 之ヲ專掌スルノ豈ニ斯ノ裨益ノ事ニアラ
 部亭ニ斯ノ卑怯ノ事ニ在ラサルノミナラヌ
 ヲノ之ヲ政府ノ手ニ
 所以ノモノハ(配達)増加シ
 自由ナラシメ且ツリノ安全ヲ得セシメ所謂
 信書秘密ノ自由ヲセシムルニ在ル
 三故ニ政府ハ甲乙彼我ノ間ニ在テ安全ニ

東洋雜俎

初ラ食ラカハ飛脚屋ノ職ヲ勉メテ人
 交際ノ便利ヲ謀リ以テ人智流通ノ途ヲ疏
 スルモノニ外ナラザルナリ
 十重取ノイ姓名
 是ヲ以テ余^{今日}一^手認^書之ヲ^{書翰}
 中ニ入レリ^趣唾^シテ之レカ封ヲ為シ
 姓名任所ヲ認^明之ニ貼付スルニ一錢若ク
 ハ二錢ノ郵便印ヲ以テ之ヲ郵便局カ若ク
 ハ街道ニ設ケタル郵便箱ニ投^正之^正爾高ニ其手
 續^ラシタハ上ハ夫^夫ノ信書^東ノ秘密ヲ保護シ^全

ラシテ人生本原ノ自由ヲ全フスルヲ得也
 余カ封シタル時ト同一ノ有様ヲ以テ之ヲ受取
 人ノ手ニ交付スルハ抑モ是レ飛脚屋タル政
 府ノ一大責任ナリ^謹謂^ハ之^ハ否^ナ之^ハ政府ノ
 手ニ專掌シ他人ノ之ニ從スルヲ禁シタル上ハ
 ニノ飛脚屋タル政府^ハノ自由ヲ保護スルノ
 責ニ任セサルヲ得ス^不然^ラス^ニテ是^レ飛脚
 屋タル政府ニシテ平等ノ保護ヲ人民ニ與ハス
 自家^カ政事主義ニ及^テハ貴族ノ人ニ對シテ
 其ノ保護ヲ停メ之レカ秘密ノ自由ヲ保護セ

東洋雜俎

或ハ其封^紙ヲ截^破リ或ハ之ヲ投封スルヲ得^テ
 自由ヲ犯サレハ人民ハ如何ニ感覺スル乎
 飛脚屋ハ人民ニ取テハ不便至極ノ飛脚屋
 他ト通信ノ便ヲ得ル^テ誠ニ是レ迷惑^怖ナ方ノ
 至^リ利^便ノ分^也也
 人民ヲ之ニテ之ニテスルヲ得ルニシテハモ
 敢テ兵馬ノ事^ハ如キ法制^ノ事^ハ如キ政治ノ権力
 施行スルニモ此^ノ法^ハ唯^ニ公共ノ配達^ヲ爲

之郵送ノ費用ヲ輕減^スル^テ今^ノ便^ヲ以^テ人^ノ同^ノ
 交通ノ便利ヲ謀^ルル^テ社会^ノ便利^ヲ喫^クサント欲^ス
 ハ^ニ在^ルニ^シテ^ハ西^ノ儒^ノ曰^ク政府^ハ郵便局^ヲ設置^スル^ハ
 ハ唯^ニ甲^乙彼此^ノ間^ニ立^テ取^リ續^クテ^ハ爲^スル^者
 過^テ不^レ因^リ日^リ兵^馬ノ喫^クテ^ハ法律^ヲ布^クカ^ル如^キ
 國^ノ有^リ権^力ト均^シカ^ルカ^ラナ^リ誠^ニ誣^言
 余^ハ今^マ顧^ミテ^ハ泰^西諸^邦ノ故^實ヲ討^究シ^テ信^書
 秘密^ノ自由^カ如何^{ナル}乎^ハ長^ク考^ヘテ^ハ極^スル^ハ
 自由^ヲ妨^害セ^ラズ^ル外^ニモ^ハ歐^洲大陸

ハ余の内閣参議諸君ト其政治主義ヲ殊ニスル
ニ拘ハス心ヲ余カ自由ヲ保護ニ給ハルナ
ラン吾ナ平等ノ保護ヲ蒙ルルニキハ我良民平
等ノ權利ナルハケレハ余カ切ニ平等ニ法律上ノ保
護ヲ享有セントテ其業ヲナシ
又ヲ要スルニ信書ノ配達ヲ政府ノ手ニ專掌ス
ルハ人生ノ最大自由ナル交通ノ便ヲ謀リ人々
ヲ安穩ニ容易ニ其信書ヲ通スルヲ得セシ
ムント欲スルモ、
宰ノ主義ニ出ルモ、
決ニテ収益ノ主義
ハ利益ノ爲メニ
ハ利益ノ爲メニ
ハ利益ノ爲メニ

ハ利益ノ爲メニ

ク其主義ヲ明ニシ之ヲ処スルハ誠ニ其本分
歟、誤ニ人生本源ノ自由ヲ害シ政府ノ政
府ニル所以ハ本源ヲカサハルナリ
ハ利益ノ爲メニ

東洋著作